

文化芸術分野の現状と課題及び施策体系

現状と課題

①文化芸術に触れることができる機会の確保

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、区民や団体が文化芸術活動や鑑賞を行うことが難しい状況となっています。そうした状況下においても、文化芸術が停滞することを防ぐため、区民が文化芸術に触れることができる機会を創出することが重要です。オンライン配信等を利用して鑑賞や勉強の機会を確保するなど感染拡大防止対策を徹底した上での活動の実施などが求められます。
- シビックホールの改修や新型コロナウイルス感染症の影響による鑑賞機会の制限の解消のため、シビックホールの代替りの鑑賞の場や、感染症対策として、屋外や半屋外の施設の活用を検討が必要です。
- 性別や年齢、障害の有無、家庭環境等の様々な状況に応じて、だれもが文化芸術に触れることができる社会の実現が必要であり、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で抑圧されやすい層に対して、特別な配慮の下に文化芸術を楽しむことのできる機会を充実させることが必要です。

②文化芸術の次世代を担う人材の育成

- 文化芸術の担い手が高齢化している中で、鑑賞と活動の両面で次代の文化の担い手の育成が必要です。そのため、学習分野との連携により、文化芸術の担い手となる子ども達に対して、文化芸術の「実践の」入り口となる機会を提供することや子どものニーズに合った文化芸術プログラムを提供することで興味・関心を高めることが求められます。
- 現在の文化継承の主な担い手となっている中高年層が、子ども達に文化芸術の楽しさを伝えるような世代間交流事業の充実が求められます。
- 次世代を担う人材の育成という文脈において、文京区と各文化芸術団体が連携し、文化芸術に触れる機会を創出する事業の実施などが必要です。

③文化資源の再発見と活用の推進

- 観光分野をはじめ、他の分野と連携を図り、地域に存在する文化資源の再発見と適切な活用の推進が求められます。
- 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした、日本文化のアピールは難しいと思われるため、オンライン等を活用した文化芸術の発信が必要です。
- 今後、デジタル技術の質が向上する中で、デジタルの鑑賞の質が高まることも考えられるため、デジタル技術の活用等について検討が求められます。また、新しい文化芸術を生み出すという観点も必要です。
- 文京区の文化芸術を学んだ区民が、地域資源を活かして将来の地域文化を創造していけるような活動を検討することが求められます。

④文化芸術の性質を踏まえた支援の充実

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、長年地域で行ってきた文化芸術イベントが実施できていません。活動機会を設けることができず、メンバーも減少してきています。活動を再開し再び軌道に乗せるためには資金や労力等がかかり、非常に困難な状況になります。
- 今後の文化芸術政策の展開とその理由が十分に示される必要があります。また、支援をするにあたっては、関連する産業や団体も含めた全体の保護が図られる包括的な支援が必要です。

施策体系（案）

基本方針	施策
I. いつでも、どこでも、だれでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる（鑑賞・観覧等）】 <ul style="list-style-type: none"> 性別や年齢、障害の有無、家庭環境等に関わらず、だれもが文化芸術を鑑賞できる機会を充実します。 オンラインの活用など、区民が場所や時間を問わず、文化芸術を鑑賞できる環境づくりを推進します。 	ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実 イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供
II. だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する（活動・参加等）】 <ul style="list-style-type: none"> 区民が自身の興味・関心やレベルに応じて、多彩な文化活動を楽しむことができる機会を充実します。 だれもが気軽に文化芸術活動を行うことができる環境づくりを推進します。 	ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実 イ 市民団体等の活動に対する支援の充実 ウ 文化芸術活動の場の提供
III. 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる（普及・継承・指導等）】 <ul style="list-style-type: none"> 子ども達を含む次世代を担う層が文化芸術に親しむことのできる機会を充実していきます。 文化芸術を支えたり、伝統を継承し、伝える担い手の育成を推進します。 地域の貴重な文化資源を守り、保存・活用するとともに、次の世代へと確実に継承していきます。 	ア 学習分野と連携した文化芸術事業の実施 イ 次世代を担う層を対象とした文化芸術鑑賞・体験機会の提供 ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の保存・活用
IV. 地域の資源を活かしたまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術と観光や産業等の他分野との連携を図るなど、地域の文化資源を活用したまちづくりを推進します。 地域の特色ある文化資源の魅力を内外に積極的に発信していきます。 	ア 文化資源を活用した事業の推進 イ 特色ある文化資源に関する情報の発信